

こんにちわ

2008年
春号

とねっこ保育園です

今年も5名の卒園生が巣立っていきました。

3月22日。暖かな日差しの中、おおせいの父母の皆さん、おじいちゃん・おばあちゃん、そして在園生や父母の皆さんに見守られながら、5名の卒園生が元氣にとねっこ保育園を巣立っていきました。

「うんどうかい」に作った「ニキのブツダ」を背景に御陣乗太鼓や即興の劇遊びなど、自分たちのやりたいと思ったことを、自分たちなりの表現をして、自信にあふれた姿で幼児期を終えることができました。



新しい年度がスタート。学童や一時保育の子も含め、園児が約40名に。

高森さん(児童美術研究家)のお世話で、熊本の2つの保育園と旧知の木場保育園を見せていただき、子どもの前に立つ大人の思いに深く学んだ年度末の職員研修も終え、いつもながらの慌ただしさの中で、新しい年度が始まりました。3月の『絵の会』以後、急に入園の問い合わせが増え、幾組かの親子が保育園を訪れてくれました。そんなことから『今年はいつもの年と何かが違うぞ』と感じていました。入園式の準備をしながら、改めて数えてみると、5月からの予約も入れて約40名の子どもが在籍することになりました。少しずつですが、とねっこが地域に発信している『子どもが自ら感じ、考え、表現する事が自己の確立につながる』保育が徐々に受け入れられてきているように感じています。これからも、親も含めた学習を大切にしながら子どもの幸せのために力を注ぎたいと思う年度のはじめです。

開園25年目、今年度も園の運営にご協力をお願いいたします。

今年度で、25年目を迎えましたが、相変わらず運営的には厳しいものがあります。加えて、県として唯一あった、児童の定期健診の補助が打ち切られるなど、福祉予算が削られる一方です。引き続き、皆様のご協力をお願いしたいと思います。

夏の取り組みとしましては、さくらんぼやそうめんが中心になります。ぜひ、ご贈答用やご自宅用にご利用ください。(詳しくは別紙で)

また、秋か冬に25周年を機に、とねっこを巣立っていった子どもたちの同窓会を考えています(大人の参加も自由)。具体的になりましたら、改めてお知らせをいたします。ご意見などございましたらお寄せください。 とねっこ保育園